

総合地球環境学研究所

研究軸 2 人間活動影響評価研究プロジェクト

「都市の地下環境に残る人間活動の影響」

2006/02/01 RIHN  
group leader meeting

## 都市基盤 G 都市地理班

2006.2.1 リーダー会議

### 1. 今年度の成果

\* 班全体として

#### (1) 研究計画の策定

主として、資料リストの作成と所在の確認、および収集を実施することを決定した。

研究の打ち合わせ 第1回目 7月30日(土)13時~立正大学大崎校舎

第2回目 2月16日(木)13時~立命館大学歴史都市

防災研究センター

#### (2) 資料リストの作成、所在の確認と収集

各施設、ネットなど(一部、10月18日のプレ国際シンポ時の打ち合わせによる)から、資料リストを作成した。

国立国会図書館・東京大学・京都大学・アジア経済研究所・岐阜県立図書館などにおいて、地図などの閲覧を行った。

東京・大阪・タイペイ・ソウル・バンコク・マニラ・ジャカルタの地図、空中写真のコピー・購入を進めた。東京・大阪については、これまで発行された全地形図(1/2.5万、1/5万)の地形図謄本を別の研究費を用いて購入した。(利用は可能であるが、保管は予算の先になる。)また、空中写真については、一部購入が終わった。

#### (3) 発表

RIHN Inaugural International Symposium on Human Impacts on Urban Subsurface Environment, October 18 to 20, Kyoto, JAPAN

A.YOSHIKOSHI 'Geographical development process of many Asian cities, and change of hydrological environment'

その他のメンバーは Poster Presentation を実施した。

\* 個別研究として

主として上記のリストの作成・地図などの収集の他、東京・大阪において以下のテーマに関する実態調査を実施した。

吉越:「地図・空中写真の収集と利用の課題」

安達:「未定」

谷口：「五千分の一東京図」による明治初頭の東京の井戸分布」  
香川：「GISによる都市環境の歴史地理的調査の課題」  
加藤：「都市化過程における水環境の変容」  
山下：「都市用水需給システムの時空間的変遷」  
戸所：「バンコクに関する文献資料と都市開発について」

2006/02/01 RIHN  
group leader meeting

に関する研究が行われ、その内容については、2月16日の第2回打合会で発表される予定である。

## 2. 平成18年度研究計画

### \* 班全体として

- ・ 諸都市に関する地理学的資料の収集と都市の地理学的発達過程の解明
- ・ 諸都市に関する地図・写真リストの作成と収集
- ・ 東京・大阪における都市の範囲および内部の土地利用の変遷図の作成。
- ・ 東京・大阪・ソウル・バンコクの水文環境の変化の把握。
- ・ 東京・大阪における河川・湖沼・湧水・湿地などの分布とその変遷の地図化

### @ 研究スケジュール：

4月4～6日 地球研シンポ(これにあわせて出席者で都市地理班のミーティング)(海外調査の打ち合わせなど)

8月 海外調査実施

秋 研究の発表会とミーティング

適宜、東京・大阪の調査を実施

### \* 個別研究として

吉越：「地形図・空中写真からみる各時期の都市の範囲と水文環境の特性(大阪・バンコク・ソウル)」

谷口：「地形図による20世紀初頭の水域分布の把握(大阪・ソウル・バンコク)、東京の井戸分布の現状把握」

香川：「アジアの大都市における都市化と都市環境問題発生地の特徴」

加藤：「都市化過程における水環境の変容(大阪)」

山下：「都市用水需給システムの時空間的変遷(東京・大阪・海外都市)」

戸所：「地形図・空中写真からみた都市の拡大と水文景観の変化(大阪・バンコク)」

### \* 新しい研究の提案

- ・ 旧版地図のデジタル化および水系網や土地利用などの時系列的変遷のWebGISによる動画地図作成・公開(山下)
- ・ 対象都市における電子地図の収集と旧版地形図のデジタル化(香川)